



# FlexVolのテープ バックアップおよびリストア処理の監視 ONTAP 9

NetApp  
February 12, 2026

# 目次

FlexVolのテープ バックアップおよびリストア処理の監視 .....	1
FlexVolボリュームのONTAPテープバックアップとリストア操作を監視する .....	1
テープ バックアップおよびリストア操作の ONTAP イベント ログ ファイルにアクセスします .....	1
ダンプ イベント ログ メッセージおよびリストア イベント ログ メッセージの形式とは .....	2
ONTAPダンプおよびリストア イベント ログ メッセージの形式 .....	2
ONTAPテープ バックアップおよびリストア操作のイベント ログの有効化または無効化 .....	4

# FlexVolのテープ バックアップおよびリストア処理の監視

## FlexVolボリュームのONTAPテープバックアップとリストア操作を監視する

イベント ログ ファイルを表示して、テープ バックアップおよびリストア処理を監視できます。ONTAPは、重要なバックアップおよびリストア イベントとその発生時刻を、コントローラの `/etc/log/` ディレクトリにある `backup` という名前のログ ファイルに自動的に記録します。デフォルトでは、イベント ログgingは `on` に設定されています。

次の理由でイベント ログ ファイルを表示する場合があります：

- 夜間のバックアップが成功したかどうかを確認する
- バックアップ操作に関する統計の収集
- 過去のイベント ログ ファイルの情報を使用した、バックアップおよびリストア処理に関する問題の診断

イベント ログ ファイルは毎週 1 回ローテーションされます。 `/etc/log/backup` ファイルの名前は `/etc/log/backup.0` に変更され、 `/etc/log/backup.0` ファイルの名前は `/etc/log/backup.1` に変更されます。システムはログ ファイルを最大 6 週間保存するため、最大 7 つのメッセージ ファイル (`/etc/log/backup.[0-5]` と現在の `/etc/log/backup` ファイル) を保持できます。

## テープ バックアップおよびリストア操作の ONTAP イベント ログ ファイルにアクセスします

```
/etc/log/ ディレクトリ内のテープ バックアップおよびリストア操作のイベント ログ  
ファイルには、ノードシェルで  
rdfile コマンドを使用してアクセスできます。これらのイベント ログ  
ファイルを表示して、テープ バックアップおよびリストア操作を監視できます。
```

### タスク概要

```
spi Web サービスへのアクセス権を持つアクセス制御ロールや、  
http アクセス方法で設定されたユーザー アカウントなどの追加構成を使用すると、Web  
ブラウザを使用してこれらのログ ファイルにアクセスすることもできます。
```

### 手順

1. 次のコマンドを実行して、ノードシェルにアクセスします。

```
node run -node node_name
```

`node_name` はノードの名前です。

2. 次のコマンドを実行して、テープ バックアップおよびリストア処理用のイベント ログ ファイルにアクセスします。

```
rdfile /etc/log/backup
```

関連情報

["システム管理"](#)

## ダンプ イベント ログ メッセージおよびリストア イベント ログ メッセージの形式とは

### ONTAPダンプおよびリストア イベント ログ メッセージの形式

ダンプ イベントとリストア イベントが発生すると、そのたびにバックアップ ログ ファイルにメッセージが書き込まれます。

ダンプ イベント ログとリストア イベント ログのメッセージの形式は次のとおりです。

```
type timestamp identifier event (event_info)
```

以下に、イベント ログ メッセージの各フィールドについて説明します。

- 各ログ メッセージは、次の表に示すいずれかのタイプ インジケータで始まります。

タイプ	概要
ログ	ロギング イベント
dmp	ダンプ イベント
rst	リストア イベント

- `timestamp` イベントの日時を表示します。
- ダンプイベントの `identifier` フィールドには、ダンプパスとダンプの一意のIDが含まれます。リストアイベントの `identifier` フィールドでは、リストア先のパス名のみが一意の識別子として使用されます。ログ関連のイベントメッセージには、`identifier` フィールドは含まれません。

### ONTAPログイベントについて学ぶ

logで始まるメッセージのeventフィールドは、ロギングの開始または終了を表します。

eventフィールドは、次のいずれかのイベントになります。

イベント	概要
Start_Logging	ロギングの開始、または無効になっていたロギングの再開を表します。

イベント	概要
Stop_Logging	ロギングの停止を表します。

### ONTAPダンプイベントについて学ぶ

ダンプ イベントのeventフィールドには、イベント タイプに続けてかっこ内にイベント固有の情報が示されま  
す。

次の表は、ダンプ処理に対して記録されるイベント、その説明、および関連するイベント情報を示していま  
す。

イベント	概要	イベント情報
開始	NDMPダンプが開始されました	ダンプ レベルおよびダンプのタイ プ
終わり	ダンプが完了しました	処理されたデータの量
中止	処理がキャンセルされました	処理されたデータの量
オプション	指定したオプションが表示されま す	NDMPオプションを含むすべての オプションと関連する値
Tape_open	テープが読み取り / 書き込み用に オープンされました	新しいテープ デバイスの名前
Tape_close	テープの読み取り / 書き込みが終 了しました	テープ デバイスの名前
Phase-change	ダンプが新しい処理フェーズに切 り替わりました	新しいフェーズの名前
エラー	ダンプで予期せぬイベントが発生 しました	エラー メッセージ
Snapshot	スナップショットが作成または配 置されます	スナップショットの名前と時刻
Base_dump	内部メタファイル内のベース ダン プ エントリが指定されました	ベース ダンプのレベルと時刻 (増 分ダンプの場合のみ)

### ONTAPリストア イベントについて学ぶ

リストア イベントのeventフィールドでは、イベント形式のあとのかっこ内にイベント固有の情報が示されま  
す。

次の表に、リストア処理に関して記録されるイベント、その説明、および関連するイベント情報を示しま  
す。

イベント	概要	イベント情報
開始	NDMPリストアが開始されました	リストア レベルおよびリストア形式
終わり	リストアが完了しました	処理されたファイルの数およびデータの量
中止	処理がキャンセルされました	処理されたファイルの数およびデータの量
オプション	指定したオプションが表示されません	NDMPオプションを含むすべてのオプションと関連する値
Tape_open	テープが読み取り / 書き込み用にオープンされました	新しいテープ デバイスの名前
Tape_close	テープの読み取り / 書き込みが終了しました	テープ デバイスの名前
Phase-change	リストアの新しい処理フェーズが開始されました	新しいフェーズの名前
エラー	リストアで予期せぬイベントが発生しました	エラー メッセージ

## ONTAPテープ バックアップおよびリストア操作のイベント ログの有効化または無効化

イベント ログをオンまたはオフにすることができます。

手順

1. イベント ログを有効または無効にするには、クラスタシェルで次のコマンドを入力します。

```
options -option_name backup.log.enable -option-value {on | off}
```

on イベント ログをオンにします。

off イベントのログ記録をオフにします。



イベント ログはデフォルトでオンになっています。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。